

令和 2 年 7 月 13 日
消費・安全局食品安全政策課

カキのノロウイルスに係る平常時の水準調査委員会(第3回)【概要】

昨年度に引き続き、今年度も「カキのノロウイルスに係る平常時の水準調査」を秋冬のカキ出荷時期から開始するため、主要生産道府県及び関連省庁等が集まり調査委員会（第3回）を開催した。

1. 開催場所：東京（御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター）、WEB 会議併用

2. 日時：令和 2 年 7 月 13 日 13:30～16:00

3. 出席者

主要生産道府県（11）、研究機関（公益社団法人日本食品衛生協会、国立医薬品食品衛生研究所、国立保健医療科学院、国立研究開発法人水産研究・教育機構）、一般社団法人大日本水産会、全国漁業協同組合連合会、分析機関、関係省庁（食品安全委員会、農林水産省（畜水産安全管理課、食品安全政策課））

4. 議事概要

(1)「令和元年度カキのノロウイルスに係る平常時の水準調査」（資料 4）により、昨年度調査結果について内容を説明した後、議論を行った。

(2)「令和元年度調査における課題と令和 2 年度調査における方針（案）」（資料 5）について、昨年度調査で確認された課題と今年度調査での対応案を確認した。

また、「令和 2 年度 カキのノロウイルス対策に係る平常時水準調査（案）」（資料 6）と「カキ提供海域・加工場の選定、カキの採取及び送付等について（案）」（資料 7）により、調査の背景、目的、計画や実施手順等について確認した。

(3) 昨年度までにレギュラトリーサイエンス研究推進委託事業において実施さ

れた研究事業の結果を含め、「海域のウイルス学的清浄性に関する現状と課題」（資料８）について内容を説明した後、議論を行った。

（４）「シンガポール向けに輸出するカキのノロウイルス検査について（周知）」（資料９）により、シンガポールのカキのノロウイルス検査について情報を共有した。

（５）ご意見

✓ 令和元年度調査結果について、2019-2020 年は新型コロナウイルスの影響があるため、感染性胃腸炎報告数とノロウイルス定量値の相関については慎重に考察すべき。

✓ 「海域のウイルス学的清浄性に関する現状と課題」において海水からファージが検出されなかったことに関し、カキの 1 日あたりの換水量を考えるとサンプル量が少なすぎる可能性がある。

✓ 海域のノロウイルスのリスクを判断する際は汚染下水の流入の有無だけで判断するべきではない。